教育委員提案①

戸田市版
セサミストリートカリキュラム

令和8年10月15日
戸田市教育委員会

戸田市版セサミストリートカリキュラム

人工知能（ＡＩ）が様々な職業を代替していく時代に向けて、様々な変化に積極的に向き合い、
主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する力の育成が必要



戸田市教育委員会 × セサミワークショップ

セサミワークショップは、世界１５０以上の国々において、「セサミストリート」を提供している米国NPO法人。メディアがもつ教育的な力を活用して、世界中の子供たちがかしこく、たくましく、そしてやさしく育つことを支援することをミッションとしている。

目標と選択	方法と手段	価値の理解	多様性とインクルージョン
夢をえがく 目標をたてる	計画をたてる 行動する 問題を解決する コラボレーション	お金の価値 物事の価値 人の価値観	社会的スキル 多様性の理解 インクルージョンの実現

夢をえがき、計画を立て、行動する力
みんなで考える力
多様性を理解する力

戸田市版セサミストリートカリキュラムを通して各校のカリキュラムマネジメントを実現

© 2026 Sesame Workshop. All rights reserved.

これまでの流れ

パイロット校による授業実践からの研究

H29パイロット校1校　新曽小
H30パイロット校3校　新曽小
喜沢小
芦原小

戸田市教職員専門研修

各校の**推進者**を育成

戸田市版セサミストリートカリキュラムの実施

全小学校の**生活科**
総合的な学習の時間
において実施



© 2026 Sesame Workshop. All rights reserved.

指導の重点・主な施策

平成31年度

セサミストリート・カリキュラム

セサミストリート・カリキュラムは、学年ごとに「目標と選択」「方法と手段」「価値の理解」「多様性とインクリュージョン」の４カテゴリー12プログラムで構成され、セサミストリートのキャラクターと共に学ぶ教材が準備されている。各学校の課題に応じてプログラムを選択し、「主体的に判断する力」「協働する力」「新たな価値を創造する力」「多様性を理解する力」などを育成する。



児童のワークシートから見る各カリキュラムの内容

目標と選択

1 夢をえがく　2 目標をたてる



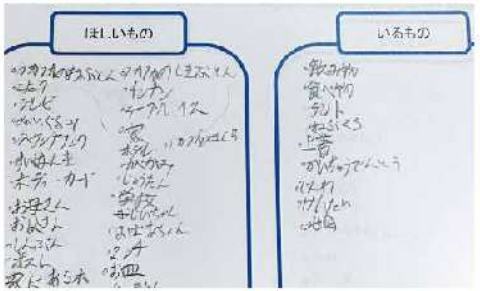
実践例

「将来の夢をかなえるために計画と行動を考えよう」

「なりたいもの」や「やりたいこと」を言語化し、自己実現に向け、行動するための計画をたてる。グループでの話し合いを通して、実現のための様々な方法を知る。

価値の理解

7 お金の理解　8 価値の理解　9 人の価値観



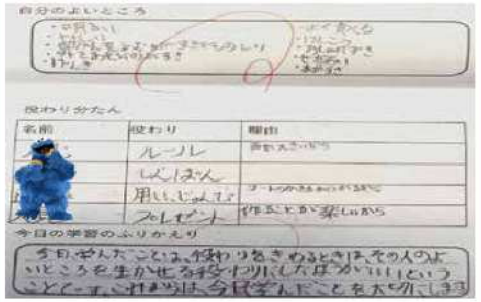
実践例

「海へ行くときにほしい物といる物について考えよう」

海へ行くときに「ほしい物」と「いる物」について個人で考えた後に、グループでの話合いを通して価値観の多様性に気付く。また「ほしい物」と「いる物」の違いを理解する。

方法と手段

3 計画をたてる　4 行動する　5 問題を解決する　6 コラボレーション



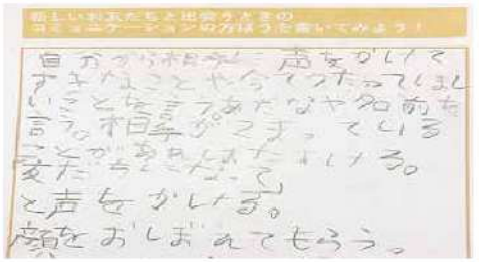
実践例

「役割について考えよう」

自分の得意なことや特徴を考え、グループでの話合いを通し、それぞれの長所を生かしながら役割分担をする。自分の役割を理解して行動する資質を育てる。

多様性とインクリュージョン

10 社会的スキル　11 多様性の理解　12 インクリュージョンの実現



実践例

「いろいろなコミュニケーションの方法を知り、みんなの考えを認め合おう」

自閉症スペクトラムのジュリアに初めて会うときにどんなコミュニケーションをとるかを考え、ジュリアへの接し方や様々な個性について理解する。

令和2年度

すべての児童生徒が過ごしやすい学級づくりのために

－学級雰囲気が良好なクラス－

- チャイムが鳴る前に、担任も児童生徒も授業の準備ができている。
- 授業内におけるノートの取り方などのルールが確立されている。
- 指示が明確である。
- 教室の整理整頓ができている。
- 話し合いが活発だが、メリハリがあるため騒がしくない。

－学級雰囲気が良好でないクラス－

- チャイムが鳴っても授業が始まらない。
- ノートの取り方の具体的な指示やルールがない。
- 指示が次々に追加され、途中で何をするかがわからなくなる。
- 机がまっすぐ揃っていない。
- 誰かの失敗や話し方に対して、他の児童生徒が過剰に反応をする。

良好な学級雰囲気のための2つのポイント

Point 1 学習環境を整える

①教室の環境調整、②指示の明確化を行い、児童生徒が落ち着いて学習に取り組めるように環境を整える。
ルールを定着させるためには、できていない児童生徒ばかりに目を向けるのではなく、**できている児童生徒に対して、教師が褒める、認める**などの適切な評価をすることで、学級全体に波及させる。
【チェックリスト　1～8】

Point 2 他者を尊重する雰囲気づくり

学習環境を整えた上で、児童生徒の様子を確認しつつ**肯定的な声かけをする**など、良好な関係性を構築し、他者を尊重する雰囲気を醸成する。
【チェックリスト　9～13】

学級の雰囲気チェックリスト

筑波大学　柏樹雅義・岡部明希

番号	場面	内容
1	授業開始前	教室の整理整頓（本棚・ロッカー・児童生徒と先生の机など）ができている。
2		机が真っ直ぐ揃っており、床に荷物やゴミが落ちていない。
3		チャイムがなる前に、児童生徒も先生も授業の準備ができている。
4	学級経営・授業運営	クラスのルールやマナー、授業内における発表の仕方、ノートの取り方などが確立されている。
5		授業の進め方や本時の内容が明確である。
6		授業内における話し合い活動や意見交換が活発である。ただし、メリハリがあるため、騒がしくない。
7		課題が早く終わった児童生徒や時間を持て余している児童生徒、私語をしている児童生徒に対して、次の指示を出している。
8		必要に応じて、板書に振り仮名を付けたり、ページ番号を書くなどの工夫をしている
9	児童生徒と先生のやりとり	児童生徒が自分の意見や感想をノートに書いているタイミングで、先生自身の仕事や作業を行わず、児童生徒の表情や姿勢を確認している。
10		「いいね！」「そうそう！」「OK！」などの肯定的な言葉掛けをしている。
11		児童生徒と担任の先生の授業内におけるやり取りが多く、テンポが良い。
12	児童生徒同士のやりとり	物を落としてしまったり、作業についていけなかったりする友人のことを気に掛け、すばやく行動に移すことができる児童生徒が多い。
13		誰かのふざけや失敗に対して、過剰に反応する児童生徒が少ない。

雰囲気づくり × セサミストリート・カリキュラム ＝ 多様性を認める学級づくり

セサミストリート・カリキュラムは、「キャリアとお金」「価値や多様性の理解」「インクルージョンの実現」の３つの軸を中心に構成され、教科における学力の向上だけでなく、社会性や情緒的行動、生涯学習における基礎的な資質の育成を目標としている。各学年１２のプログラムから学級や学校の実態・ニーズに合わせ、必要なプログラムを選択することができる。



セサミストリート・カリキュラムの４ヶ条

1 間違いも正解もない。
2 思ったこと、考えたことは全て発言する。
3 お互いを尊重し、受け入れ合う。
4 途中で考えが変わってもよい。

セサミ×特別支援

単元名：立場の理解　（4学年）
課　題：相手の立場にたった関わり方を考えよう。

〈展　開〉
- 街にはどんな人がいるのかを考える。
- 特別支援学級について知る。
- 見た目だけでは「困っていること」がわからない人がいることを知るとともに、接し方を考える。
- 考えたことをグループ、クラスで共有する。







セサミ×国際理解

単元名：文化の違い　（4学年）
課　題：いろいろな文化や価値観を知り、尊重の仕方を考えよう。

〈展　開〉
- 自分が出合った文化や価値観の違いをワークシートに書く。
- ゲストティーチャーから他国と日本の生活様式や風習の違いなどについて紹介してもらう。
- 自分が出合った文化や価値観の違いをクラスで共有する。
- 自分と違う文化や価値観と出合ったときにどうするかをグループ、クラスで話し合う。



セサミストリート・カリキュラムは、児童生徒一人一人の違いを認め合い、それぞれの持ち味を発揮できる学級＝多様性を認める学級をつくるための手立ての一つとなります。

セサミストリートカリキュラムの4ヶ条



1. 間違いも正解もない。
2. 思ったこと、考えたことは全て発言する。
3. お互いを尊重し、受け入れ合う。
4. 途中で考えが変わってもよい。

セサミストリートカリキュラムの4ヶ条があることで、間違いや考えの違いを恐れずに**安心**して自分の思いを表現し、互いの考えを**尊重**し受け入れ合う、対話的で**包摂的**な学級風土づくりにつながる。

© 2026 Sesame Workshop. All rights reserved.

カリキュラム単元一覧

カテゴリー	テーマ	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
目標と選択	1. 夢をえがく	1.1 自分のやりたいこと	2.1 身のまわりにある仕事	3.1 なりたいものとやりたいこと	4.1 コミュニティーにある仕事	5.1 自分のキャリア	6.1 将来の自分像
	2. 目標をたてる	1.2 目標の表現	2.2 目標の共有	3.2 協力してたてる目標	4.2 コミュニティーの目標	5.2 達成可能な目標	6.2 目標の評価
方法と手段	3. 計画をたてる	1.3 計画する大切さ	2.3 計画のたて方	3.3 計画の評価	4.3 自分の計画	5.3 計画から評価まで	6.3 方法や手段の評価
	4. 行動する	1.4 待つことのよさ	2.4 長期的な視点	3.4 計画から達成までの時間	4.4 自分の役割	5.4 1年のタイムライン	6.4 8年のタイムライン
	5. 問題を解決する	1.5 問題と向き合う姿勢	2.5 問題解決のステップ	3.5 解決策の見つけ方	4.5 解決策の評価	5.5 問題点の評価	6.5 身近な問題の解決
	6.コラボレーション	1.6 協力する楽しさ	2.6 協力してできること	3.6 グループ間の協力	4.6 コミュニティーでの協力	5.6 協力して問題解決	6.6 戦略と役割分担
価値の理解	7.お金の理解	1.7 買い物の仕組み	2.7 計画的なお金の使い方	3.7 思いやりのあるお金の使い方	4.7 自分のお金	5.7 コミュニティーのお金	6.7 社会のお金
	8. 物事の価値	1.8「買う」以外の方法	2.8 ものを大切にすること	3.8 欲しい物と要る物の違い	4.8 お金を使わずに得られる価値	5.8 欲しい物と要る物の判断	6.8 価値の共有
	9. 人の価値観	1.9 他者のいいところを探す	2.9 他者にいいところを伝える	3.9 コミュニティーに必要なもの	4.9 社会に必要なもの	5.9 自分のキャリアに必要なもの	6.9 価値観と将来設計
多様性とインクルージョン	10.社会的スキル	1.10 自分の感情	2.10 他者の感情	3.10 歩みよること	4.10 立場の理解	5.10 忍耐力・回復力	6.10 個性の理解
	11. 多様性の理解	1.11 自分と友達の違い	2.11 身体的な特性	3.11 目に見えない特性	4.11 文化の違い	5.11 感覚の違い	6.11 多様性とは
	12. インクルージョンの実現	1.12 思いやりのある行動	2.12 助け合い	3.12 他者を尊重した行動	4.12 コミュニケーションの選択	5.12 変化するニーズ	6.12 社会への貢献

学年ごとに「目標と選択」「方法と手段」「価値の理解」「多様性とインクルージョン」の4カテゴリー12プログラムで構成され、セサミストリートのキャラクターと共に学ぶ教材が準備されており、各校でカリキュラム・マネジメントをする際の参考にしている。

令和８年度　年間指導計画

	戸一小	戸田第二小	新曽小	美谷本小	笹目小	戸田東小
1年	6月 目標の表現 11月 他者のいいところを探す 2月 買い物の仕組み	7月 計画する大切さ 11月 思いやりのある行動 2月 他者のいいところを探す	5月 自分のやりたいこと 10月 自分と友達の違い 1月 問題と向き合う姿勢	6月 自分のやりたいこと 10月 目標の表現 2月 協力する楽しさ	6~7月 夢をえがく 自分のやりたいこと 9~10月 目標をたてる。目標の表現 2~3月 人の価値観 お互いのいいところを探す	4月 自分のやりたいこと 10月 計画する大切さ 3月 思いやりのある行動
2年	6月 助け合い 9月 問題解決のステップ 2月 他者のいいところを伝える	6月 助け合い 9月 問題解決のステップ 2月 他者にいいところを伝える	5月 身体的な特性 10月 協力してできること 1月 身の回りにある仕事	6月 助け合い 9月 問題解決のステップ 2月 他者にいいところを 伝える	6月 インクルージョンの実現 助け合い 9月 問題を解決する 問題解決のステップ 2~3月 人の価値観 お互いのいいところを伝える	4月 問題解決のステップ 7月 身のまわりにある仕事 2月 身体的な特徴
3年	5月 計画の評価 9月 歩みよること 2月 グループ間の協力	5月 なりたいものとやりたいこと 6月 他者を尊重した行動 2月 グループ間の協力	5月 協力してたてる目標 6月 他者を尊重した行動 7月 グループ間の協力	7月 協力してたてる目標 9月 グループ間の協力 2月 ほしいものと 要る物のちがい	6月 コラボレーション グループ間の協力 10~11月 お金の理解 思いやりのあるお金の使い方 12~1月 価値の理解 欲しい物といる物の違い	4月 計画から達成までの時間 10月 グループ間の協力 2月 歩みよること
4年	5月 自分のお金 9月 解決策の評価 2月 立場の理解	6月 立場の理解 9月 コミュニティーにある仕事 2月 自分の役割	4月 自分の役割 4月 解決策の評価 5月 立場の理解	7月 自分の役割 9月 自分のお金 2月 コミュニケーションの 選択	6月 行動する 自分の役割 9~10月 お金の理解 自分のお金の使い方 12~1月 インクルージョンの実現 コミュニケーションの選択	4月 コミュニティーの目標 10月 お金を使わずに得られる価値 3月 解決策の評価
5年	5月 コミュニティーのお金 9月 達成可能な目標 2月 計画から評価まで	5月 1年のタイムライン 9月 忍耐力・回復力 12月 協力して問題解決	5月 感覚の違い 6月 忍耐力・回復力 7月 欲しい物の要る物の判断	7月 達成可能な目標 9月 欲しいものと 要る物の判断 2月 忍耐力・回復力	5~6月 目標をたてる 達成可能な目標 9~10月 物事の価値 欲しい物といる物の判断 12~1月 社会的スキル 忍耐力、回復力	4月 自分のやりたいことキャリアに必要なもの 10月 忍耐力・回復力 3月 計画から評価まで
6年	5月 社会のお金 9月 将来の自分像 2月 身近な問題の解決	5月 将来の自分像 6月 社会のお金 12月 個性の理解	5月 多様性とは 6月 個性の理解 7月 社会への貢献	7月 将来の自分像 9月 戦略と役割分担 2月 個性の理解	6月 夢をえがく 将来の自分像 9~10月 コラボレーション 戦略と役割分担 11~12月 社会的スキル 個性の理解	5月 社会のお金 9月 戦略と役割分担 3月 将来の自分像
特別支援学級						5月 コミュニティーに必要なもの 9月 問題解決のステップ 3月 問題の評価

各学校の課題に応じてプログラムを選択し、「主体的に判断する力」「協働する力」「新たな価値を創造する力」「多様性を理解する力」などを育成する。

授業例

6年生 「夢をえがき、計画を立て、行動する」

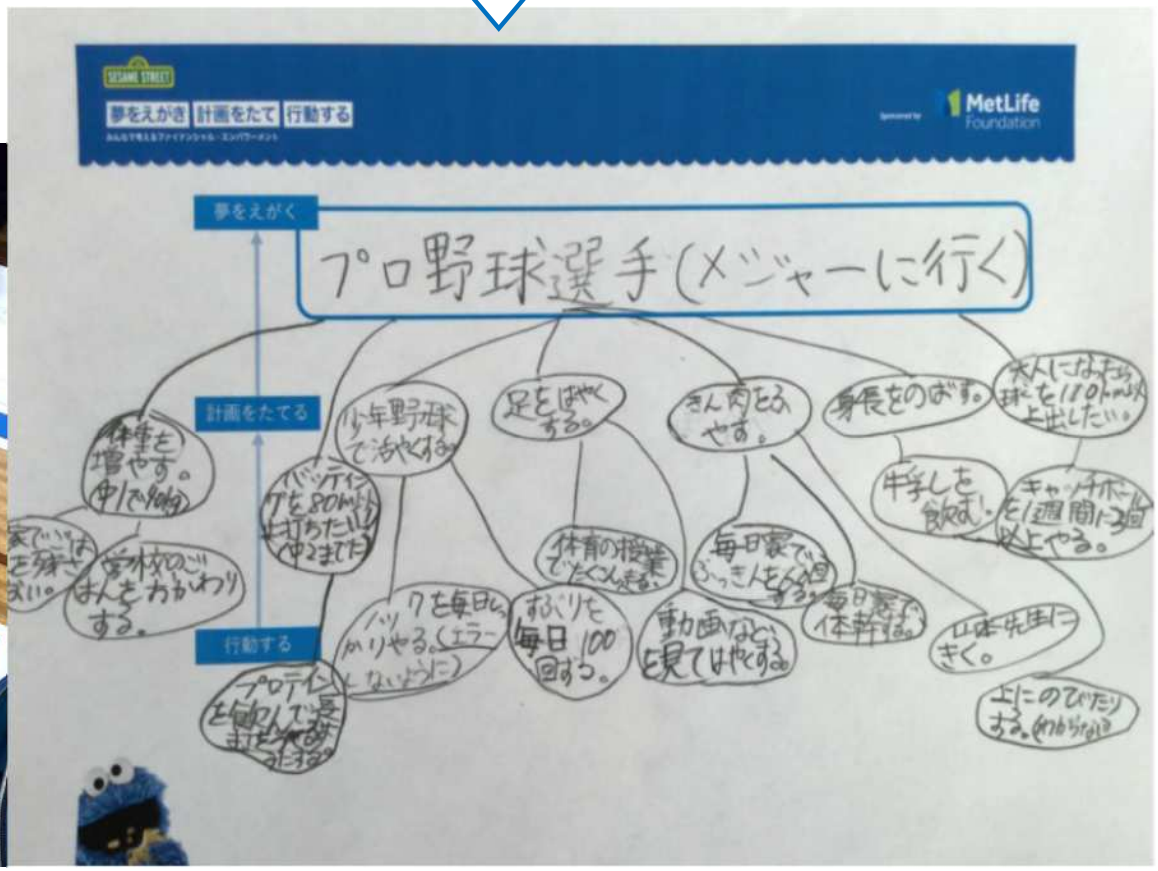
「なりたいもの」「やりたいこと」を言語化し、目標からさかのぼって　計画をたてる

目標と選択

夢をえがく
目標をたてる

６年生の児童が自分の将来の夢のために遡って計画し、更にいま何をやるべきかを言語化する活動





授業例

4年生「自分の役割」

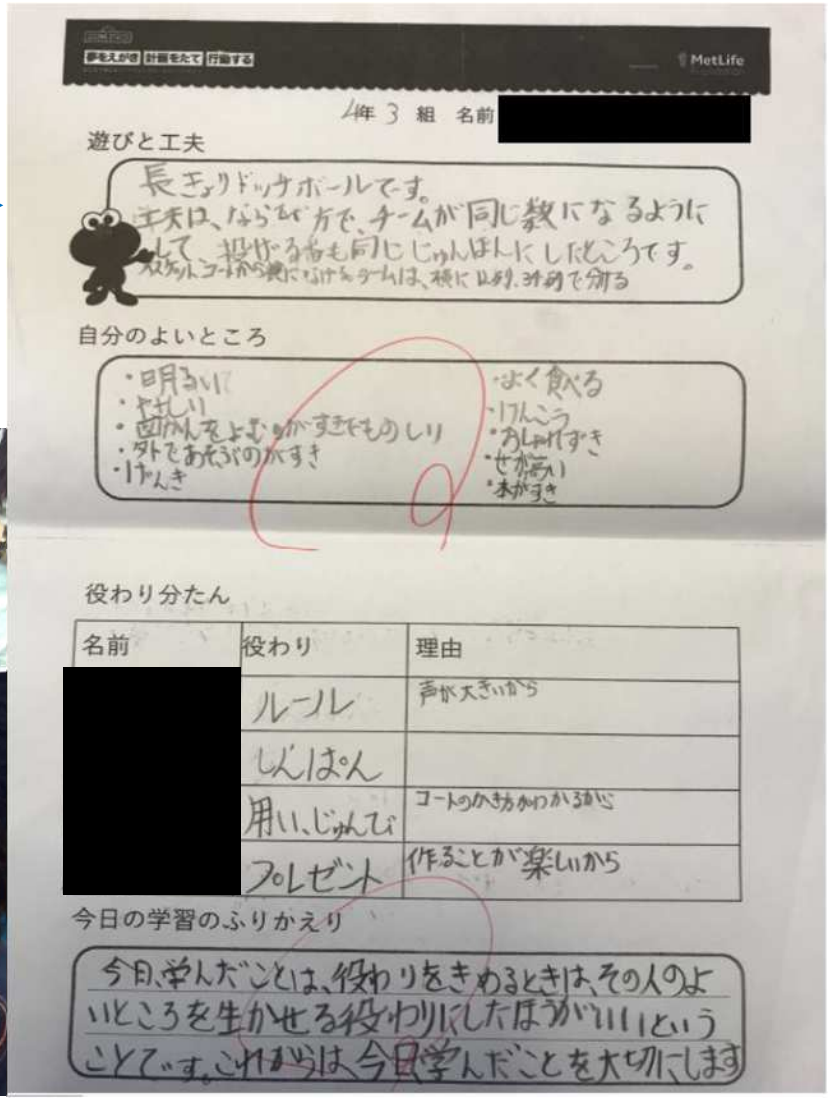
役割分担について理解し、自分の役割を理解して行動する

方法と手段

計画をたてる
行動する
問題を解決する
コラボレーション

４年生の児童が遊びを進めるために、友達の特性を考えて役割分担をする活動





夢をえがき 計画をたて 行動する

MetLife

4年 3 組 名前 [redacted]

遊びと工夫

長きょりドッチボールです。
工夫は、ならび方で、チームが同じ数になるようにして、投げる番も同じじゅんぽんにしたところです。
双方ゴールから長になけるチームは、横に12列、3行列で分ける

自分のよいところ

・明るい
・やさしい
・図かんをよむのがすきでものしり
・外であそぶのがすき
・げんき
・よく食べる
・けんこう
・おしゃれずき
・せが高い
・本がすき

役わり分たん

名前	役わり	理由
[redacted]	ルール	声が大きいから
	しんぱん	
	用い、じゅんび	コートのかき方がわかるから
	プレゼント	作ることが楽しいから

今日の学習のふりかえり

今日、学んだことは、役わりをきめるときは、その人のよいところを生かせる役わりにしたほうがいいということです。これからは今日学んだことを大切にします

授業例

3年生「ほしい物といる物の違い」

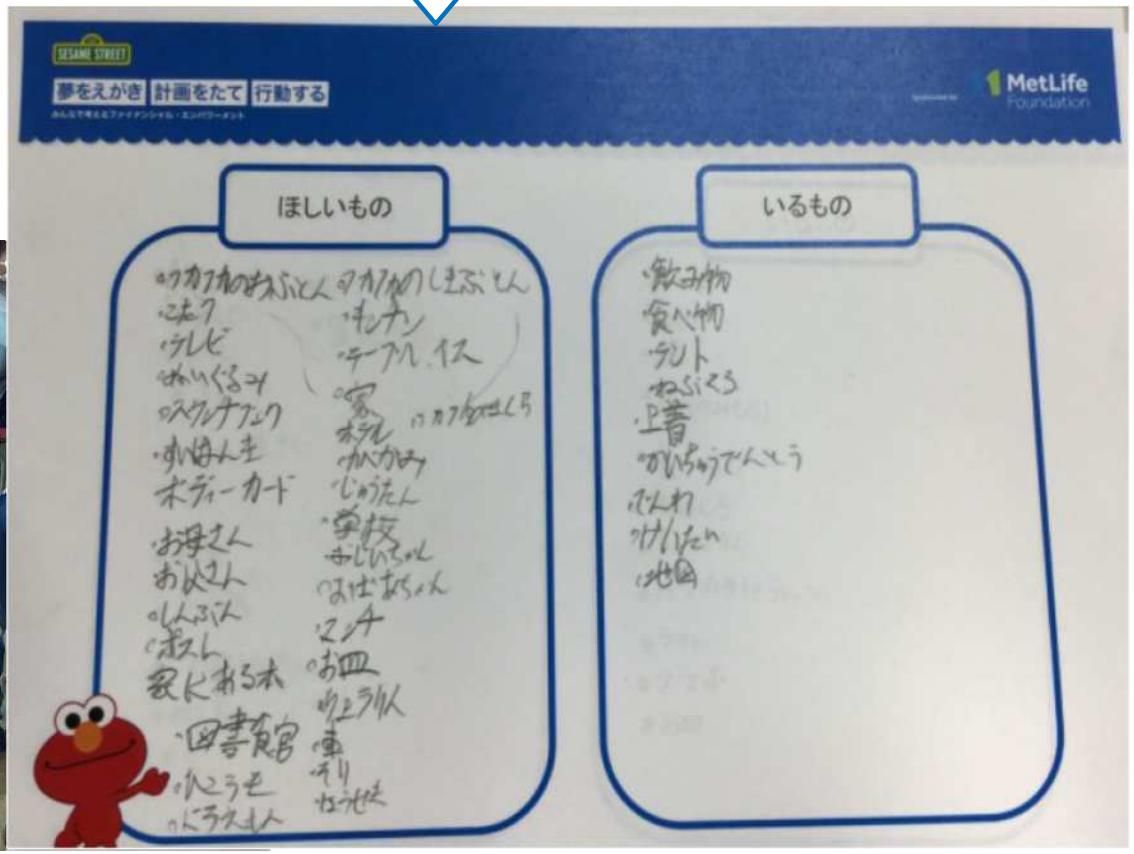
「ほしい物」と「いる物」は状況によって、変わることを知る
「ほしい物」よりも「いる物」の方が優先順位が高いことを理解する

価値の理解

お金の価値
物事の価値
人の価値観

３年生の児童がキャンプに出かける際に、「ほしい物」と「いる物」を自由に違いについて考える活動





授業例

3年生「他者を尊重した行動」

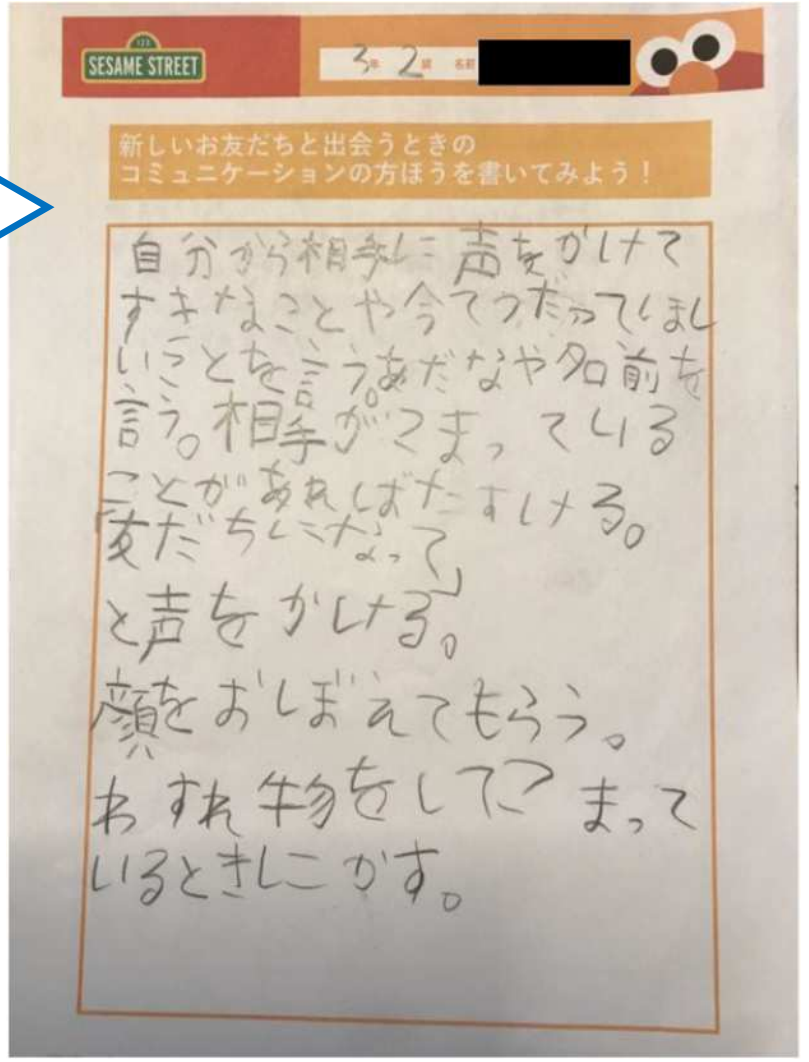
相手に関心・興味を持ち、敬意を持って接することができる心を育てる
相手を理解し、尊重する気持ちを高める

多様性とインクルージョン

社会的スキル
多様性の理解
インクルージョンの実現

３年生の児童が、新しい友達と出会うときのコミュニケーションの方法を考える活動





キャラクターの活用



ジュリア

自閉症の特性があるキャラクター
自分のやり方やペースがあり、他の子と違うやり方をすることがある
ハグや大きな音は苦手、友達と遊ぶことが大好き

障害のあるキャラクターがカリキュラムに出てくることで…

- 多様性を「知識」ではなく、**身近な友達の存在として理解**できる
- **違いがあっても一緒**に過ごし、関係をつくれることを学べる
- 子供が**感情移入しながら**自然に**他者理解**を深められる



© 2026 Sesame Workshop.® Sesame Street.® and associated characters, trademarks and design elements are owned and licensed by Sesame Workshop. All rights reserved.